

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-28

## 甲第五十四号

---

(発行年 / Year)

1910

秘

甲第五十四號

明治二十九年二月十一日配付

第五章 親權

第一節 總則

第八百九十條 未成年ノ子ハ其家ニ在ル父ノ親權ニ服ス

父カ知レサルトキ死亡シタルトキ又ハ親權ヲ行フコト能ハサルトキハ其家ニ在ル母之ヲ行フ

(參照)八 一四九佛三七二二三七三澳一七二伊二二〇格拉ウブム  
シテシ六七ヲハトリロ六七八西一五四一六七三一四白草三  
五七三五八獨一五〇六一五〇六一五四四一五五四一  
五五五一一五五七一五五九二項一五六〇同二章一五二一一  
五二二一一五二九一一五五六一項一五六五乃至一五六八一五  
七二乃至一五七五

第八百九十一條 繼父繼母又ハ嫡母カ親權ヲ行フ場合ニ於テハ次章ノ規定ヲ準用ス

(參照)八 一五八乃至一六〇

第二節 親權ノ效力

第八百九十二條 親權ヲ行フ父又ハ母ハ其子ノ監護及ヒ教育ヲ爲ス權利ヲ有シ義務ヲ負フ

(參照) 八 一五〇、一五二、二十四年十一月文部省一六號一、二條  
二〇三三七四編一章一五〇、二一號一五〇、四一五〇、六一五〇、八同二章一五二二、一五二六一項一五二九

第八百九十三條 子ハ親權ヲ行フ父又ハ母カ指定シタル場所ニ其居所ヲ定ムルコトヲ要ス

(參照) 八 一五〇、佛三七四號一四五伊二二、二二二一項ツエ  
一リヒ 六六二、六六三、西一五六一項、白草三六一、三六二、編一章一五〇、二一號一五〇、五同二章一五二六一項一五二七

第八百九十四條 親權ヲ行フ父又ハ母ハ必要ナル範圍内ニ於テ自ラ其子ヲ懲戒シ又ハ裁判所ノ許可ヲ得テ之ヲ相當ノ懲戒場ニ入ルルコトヲ得

子ヲ懲戒場ニ入ルル期間ハ六个月以下ノ範圍内ニ於テ裁判所之ヲ定ム但此期間ハ父又ハ母ノ請求ニ因リ何時

ニテモ之ヲ短縮スルコトヲ得

(參照) 八 一五一、一五三、佛三七五乃至三八三、澳一四、五伊二二、二ツキ、一リヒ 六六二、西一五六乃至一五八、白草三六一、二項三六三、編一章一五〇、四同二章一五二六二項

第八百九十五條 子ハ親權ヲ行フ父又ハ母ノ許可ヲ得ルニ非サレハ職業ヲ營ミ又ハ兵役ヲ出願スルコトヲ得ス

(參照) 六 卅五五〇、二十二年一月法一號、徵兵令一二、佛三七四、同千八百三十二年三月二十一日法三二、同千八百七十二年七月二十七日法四六

第八百九十六條 親權ヲ行フ父又ハ母カ其子ニ職業ヲ營ムコトヲ許シ又ハ其許可ヲ取消シ若クハ之ヲ制限スルニハ親族會ノ認許ヲ得ルコトヲ要ス

(參照) 六 八二二、一、卅五五〇、佛四八五、編一章一五一、二一項九號

第八百九十七條 親權ヲ行フ父又ハ母ハ子ノ財産ヲ管理シ又其財産ニ關スル法律行爲ニ付キ其子ヲ代表シ又ハ

之ニ同意ヲ與フ

(參照) 一五三、一五四、佛三八九、一項、濼一四九乃至一五一、伊二二四、三二五、西一五九、一六〇、白草三六四、獨一草一五〇、三一、一五〇、三一、項一六四、九同二草一五二、二一、一五二、五、一項一五三七

第八百九十八條 子カ其配偶者ノ財産ヲ管理スヘキ場合ニ於テハ親權ヲ行フ父又ハ母之ニ代ハリテ其財産ヲ管理ス

(參照) 獨一草一五〇、三一、六四、九同二草一五二、五、一項

第八百九十九條 親權ヲ行フ父又ハ母カ子ニ代ハリテ左ニ掲ケタル行爲ヲ爲シ又ハ子ノ之ヲ爲スコトニ同意スルニハ親族會ノ認許ヲ得ルコトヲ要ス

一 借財又ハ保證ヲ爲スコト

二 不動産又ハ重要ナル動産ニ關スル權利ノ喪失ヲ目的トスル行爲ヲ爲スコト

三 不動産又ハ重要ナル動産ニ關スル和解又ハ仲裁契

約ヲ爲スコト

四 相續ヲ拋棄スルコト

五 遺贈又ハ贈與ヲ拒絕スルコト

(參照) 一五四、伊二二五、西一六四、白草三六四、三六五、四四七乃至四四九、獨一草一五〇、三一、項一五一乃至一五一、一六六、一、一六六、四、一六六、五、一六六、七、一六七、五、一六八、一、同二草一五三、二乃至一五三、六、一五五、四、一六八、七、一六八、八、一六九〇、一七〇、一、一、項一號乃至三號、二項一七〇、二、一、號二號、四號、九號乃至一二號、一七〇、三、一、七〇、八

第九百條 親權ヲ行フ父又ハ母ト其子ト利益相反スル行爲ニ付テハ父又ハ母ハ其子ノ爲メニ特別代理人ヲ選任セシムコトヲ親族會ニ請求スルコトヲ得父又ハ母カ數人ノ子ニ對シテ親權ヲ行フ場合ニ於テ其一人ト他ノ子ト利益相反スル行爲ニ付キ亦同シ

(參照) 一八九、佛四二〇、二項、伊二二四、三項、四項、西一六五、獨一草一五〇、三一、項一六五、一、同二草一五二、五、二項一六七、五、一六七、六

第九百一條 親權ヲ行フ父又ハ母カ其權限ヲ超エテ爲シタル行爲ハ父若クハ母又ハ子ニ於テ之ヲ取消スコトヲ得此場合ニ於テハ第十九條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ハ第二百一十一條乃至第二百二十六條ノ適用ヲ妨ケス

(參照)附五四七一項佛一三〇・五一三一・二一三四獨一章一五一四一六八一同二章一五三四一七〇・九乃至一七一

第九百二條 親權ヲ行フ父又ハ母ハ自己ノ爲メニスルト

同一ノ注意ヲ以テ財産ノ管理ヲ爲スコトヲ要ス

(參照)八一五三西一六三獨一章一五〇・三一・二六九六一六九七同二章一五五五

第九百三條 子カ成年ニ達シタルトキハ親權ヲ行ヒタル

父又ハ母ハ遲滯ナク其管理ノ計算ヲ爲スコトヲ要ス

(參照)八一五六佛三八九二項澳一五〇・獨一章一五〇・三一七〇〇・一項同二章一五七〇

第九百四條 親權ヲ行フ父又ハ母ハ子ノ財産ノ收益ト其

子ノ扶養教育及ヒ財産ノ管理ノ費用ト之ヲ相殺スルコトヲ得

(參照)八一五六佛三八四乃至三八七澳一五〇・葡三六六伊二

二八乃至二三四西一六〇乃至一六三獨一章一五〇・二二號

一五〇・三一・項一五一六乃至一五三七一六九八同二章一五

三九乃至一五五三

第九百五條 前條ノ規定ハ無償ニテ子ニ財産ヲ與フル者

カ反對ノ意思ヲ表示シタルトキハ其財産ニ付テハ之ヲ

適用セス

(參照)佛三八七澳一四九西一六二獨一章一五一七一一五四五同二章一五四二

第九百六條 無償ニテ子ニ財産ヲ與フル者カ親權ヲ行フ

父又ハ母ヲシテ之ヲ管理セシメサル意思ヲ表示シタル

トキハ其財産ハ父又ハ母ノ管理ニ屬セサルモノトス

前項ノ場合ニ於テ第三者カ管理者ヲ指定セザリシトキ

ハ裁判所ハ子其親族又ハ檢事ノ請求ニ因リ其管理者ヲ

選定ス

第三者カ管理者ヲ指定セシトキト雖モ其管理者ノ権限カ消滅シ又ハ之ヲ改任スル必要アル場合ニ於テ第三者カ更ニ管理者ヲ指定セス又ハ之ヲ指定スルコト能ハサルトキ亦同シ

第二十七條乃至第二十九條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

(參照) 漢一四九西一六二獨一章一五〇三一項一五一〇一五  
四五一六五〇一六六〇一七三八一七四五同二章一五二三  
一五三〇一五三一五五六二項一六八三二項三項一七八  
六一七九二二項一七九三

第九百七條 前條ノ規定ニ依リ父又ハ母カ管理セサル財產ニ付テハ第九百四條ノ規定ヲ適用セス

(參照) 漢一四九西一六〇一六三獨一章一五三二一項一五三  
三乃至一五三五同二章一五四七一五四八一五四九二項

第九百八條 第六百五十三條及ヒ第六百五十四條ノ規定

ハ父又ハ母ノ管理權ニ之ヲ準用ス

(參照) 八二〇二乃至二〇四佛三九四四一九獨二章一五七一  
第九百九條 親權ヲ行ヒタル父又ハ母ト其子トノ間ニ財產ノ管理ニ付テ生シタル債權ハ其管理權消滅ノ時ヨリ

五年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

前項ノ期間ハ子カ未タ成年ニ達セサル間ニ管理權カ消滅シタルトキハ其子カ成年ニ達シ又ハ後任ノ法定代理人カ就職シタル時ヨリ之ヲ起算ス

(參照) 八二一一佛四七五

第九百十條 親權ヲ行フ父又ハ母ハ其子ニ代ハリテ戸主權又ハ親權ヲ行フ

(參照) 八二五七獨一章一五〇三一項一五五四二項一六四九  
同二章一五二五一項一五八五

第三節 親權ノ喪失

第九百十一條 父又ハ母カ其子ニ對シ刑法第三百四十六條乃至第三百四十九條又ハ第三百五十二條ノ罪ヲ犯シ

刑ニ處セラレタルトキハ其子ニ對スル親權ヲ失フ  
（參照）佛三三五二項獨一章一五五九一五六〇同二章一五六九

第九百十二條 父又ハ母カ親權ヲ濫用シ又ハ著シク不行跡ナルトキハ裁判所ハ子ノ親族又ハ檢事ノ請求ニ因リ其親權ノ喪失ヲ宣告スルコトヲ得

（參照）人一八二一八二佛四四三乃至四四九獨一章一五四六一五五二同二章一五五七、一五六四

第九百十三條 親權ヲ行フ父又ハ母カ管理ノ失當ニ因リ其子ノ財産ヲ危クシタルトキハ裁判所ハ子ノ親族又ハ檢事ノ請求ニ因リ其管理權ノ喪失ヲ宣告スルコトヲ得

（參照）人一八二一八二佛四四三乃至四四九獨一章一五四七一五五〇乃至一五五三同二章一五三八一五五八一五五九一五六二一五六二一五六四

第九百十四條 親權ヲ行フ母ハ財産ノ管理ヲ辭スルコトヲ得

（參照）人一五七佛三九四白草三五九三六四三八五獨一章一五三八乃至一五四三、一五六一、同二章一五七六乃至一五八四

第九百十五條 前二條ノ場合ニ於テハ父又ハ母ハ第九百

四條ニ定メタル利益ヲ失フ

（參照）獨一章一五三二二項一五三三乃至一五三五